



いのちと暮らしを守る新ステージへ＝市民と野党の共通政策が大きな力を発揮した総選挙

何よりのいのちを守る政治をめざして！



11/5要望する3団体の代表、同席する遠藤れい子県議（正面向き前列右2人目）

「福祉灯油」の支給を県に要望

＝暖房は要援護世帯の暮らし、生業、文化を支える命綱＝

11月5日、障害者の生活と権利を守る新潟県連絡協議会、新潟県視覚障害者友好協議会、新潟県生活と健康を守る会連合会の3団体の代表11人は県担当課に要望しました。遠藤れい子県議が同席しました。

灯油の値上がりは

死活問題

障害者から「外出が困難なため在宅時間が長く、暖房費がかさむ。屋根の消雪設備を含め年

間数十万円もの燃料費がかかる」「肢体障害のため暖房がないと体がこわばり動けない」「マッサージ業はコロナで収入が激減した。灯油代の値上げは大打撃」

「二日も早く灯油購入代金の1万円を助成してほしい」と要望

3団体は、全4項目を要望しました。

「前年比18%上昇した場合生活保護世帯へ助成する」と県が回答

1 「石油情報センター」

の調査で、先月の一般家庭価格は、18リッター当たり1812円と7年連続で値上がりしている。

2 生活保護世帯に対しては、価格が昨年比18%上昇した場合、市町村を通じて1世帯2500円を支給する。

3 県内3分の2の市町村が、助成を考えている。金額や対象の上積みを考えているところもあるようだ。

4 その他の世帯への助成は、国の動きを見て考える。



※新潟県生活と健康を守る会連合会の情報誌より
※新潟日報11月6日朝刊にも報道されました。



基幹病院事業会計決算

○魚沼基幹病院の経営改善について
○県央医療圏の医療構築の取り組みについて

電気事業会計決算

○水力発電の老朽化に対応した施設改修の課題と取り組みについて

工業用水道事業会計決算

○福島原発事故に起因する放射性物質を含んだ汚泥処理の費用はいつまで続くかと想定しているのか。

企業会計決算審査特別委員会で質問

新潟東港臨海用地造成事業会計、基幹病院事業会計、病院事業会計、流域下水道事業会計、電気事業会計、工業用水道事業会計、工業用地造成事業会計

など質問しました。